

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	1		6
	2	5		6
	3	3		6
	4	4		6
	5	4		6
	6	7		6
	7	5		6
	8	1		6
	9	8		6
	10	3		6
	11	7		6
	12	2		6
2	1	5		8
	2	3		8
	3	1		8
3	1	4		8
	2	2		8
	3	8		8
4	1	4		8
	2	3		8
	3	8		8

高等学校地理歴史科（日本史）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
5		学校図書館や地域の公共施設などを活用するとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用し、指導に生かすことで、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。その際、課題の追究や解決の見通しをもって生徒が主体的に情報手段を活用できるようにするとともに、情報モラルの指導にも留意する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	12
6	1	松方財政下での農村の窮迫により、自由民権運動の支持者の中から、政治的に急進化する者が現れた。そして、政府の弾圧や不況下の重税に対する反発から、自由党員や農民が各地で直接行動を起こす激化事件が続いた。これらの全ての事件を自由党員が指導したわけではなかったが、自由党の指導部が党員の統率の困難さと、運動資金の不足から、加波山事件後に解党を決議したため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8
	2	幸徳秋水は、自由党は結成以来、藩閥政府による様々な言論弾圧を受け、第一議会でも藩閥政府を批判して対立を繰り返してきたにもかかわらず、旧自由党系の人々が、藩閥政府に抵抗してきたその歴史に背を向けて、藩閥勢力の前に膝を屈し、保安条例を發布した伊藤博文らの忠実な政友となり、立憲政友会を結成したものと受け止め、自由民権に生命を賭して闘ってきた自由党の光栄ある歴史が断たれることをひどく残念に思ったため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	12
7	1	資料Ⅱの指出検地は、戦国大名が、家臣である領主の支配地の面積・収入額を自己申告させるものであった。それに対し、資料Ⅰの太閤検地では、土地の面積を同じ長さの竿を用いて測らせたり、石高の算出には同じ容積の京枡を用いさせたりすることにより、同じ基準による全国的な土地調査の実施を目指した。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8
	2	まず、資料Ⅲの刀狩令から、百姓は武器の所有が禁止され、農具だけを持って耕作に専念するよう命令されていることを読み取らせる。 次に、資料Ⅳの人掃令から、この戸口調査が全国に命令されていることや、奉公人、町人、百姓など身分ごとにまとめて記録されたことを読み取らせる。 そして、これらの命令が江戸時代の身分制度に与えた影響について考察させ、百姓の武器所有が禁じられたことで兵農分離が進んだこと、また、朝鮮出兵の兵員確保のための全国的な戸口調査が、身分ごとに集計される調査であったことから、職能によって区分された身分を形づくることにつながったことに気付かせ、個人が身分制によって諸集団に編成され、武士によって支配されるという近世社会の基礎がつくられていったことを理解させる指導を行う。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	16